



遠壽院の古木梅

■ 民の目はどこに置く 事務局長 田代 周

新年1月14日、皇居において歌会始が催されました。今年のお題は「明」で、全国から1万4千余首もの応募があり、その中から選ばれた10首と天皇皇后両陛下、皇族方の歌が読み上げられました。



この様子はNHKテレビで放映されましたが、悠長な読み上げは、現代の感覚（私の感覚）に添うものではありませんが、千年もの昔から続けられてきたこの伝統行事を厳かな気持ちで観ていました。

▶ 一方でこの放映の直前の番組、「ワールドニュース」では世界のニュースを伝えていました。

「イランの反政府デモ弾圧で死者2000人以上」「トランプ大統領ベネズエラに続きキューバへの攻撃示唆」「ロシアがウクライナのインフラ施設に執拗な攻撃」云々と、世界と日本国内で今起きている出来事のあまりもの違いを見てしまいました。

▶ もちろん、国内がすべて安泰ということではありませんが、世界は様々な騒動に巻き込まれているようです。

トランプ大統領の暴挙に対してロシアが非難する場面もありましたが、これは「どの口が言うか!」とテレビの前で叫びたくなってしまいます。

自身の行動を棚に上げて人を非難するばかりで世界は好転するはずがありません。しかしこれが世界の現状なのです。

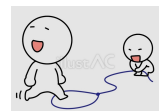
▶ 2023年の小紙2月号で「トウキディティスの罠」について記しました。“世界の覇権国家に対して新興国家が力をつけてくると、いずれ両国は戦うことになる”という古代アテネの歴史家の名にちなむ言葉で、近年の世界情勢をみるにそのリスクの高まりを感じると述べました。

3年前と比べ現在の世界は一層緊張が高まっているように感じます。なにせ、権力を盾に国際法など全く無視して力による現状を変えようとする国家リーダーが世界に何人もいるのですから。誰でも

▶ ここではそのような人たち一人一人の論評は避けて視点を変え、文字について考えてみます。

「罠」という字を見ると民の上に目が横たわっているように見えます。

足元をしっかりと見ず、目が横にな



ったような状態していると「罠」にかかってしまうという意味でしょうか。目を縦にすると「眠」になってしまふ。民の目はどこに置けばよいのでしょうか。

民の右側に置くと「𡵓」となって、まさしく民の目を表しているようです。ところで、この字は何と読んだら良いか皆さんの考えをお聞かせください。

▶ 一人の民の視線の先は一方向であっても多くの民の視線が集まれば四方八方を見渡すことができます。罠にはまらず、肝心な場で眠ることもなく皆で世界の動きを注視していきましょう。

■ 2月8日衆議院議員選挙

▶ 高市首相は1月23日に衆院解散を宣言し、政局は風雲急を告げ乱気流が渦巻いているようです。

前回選挙からまだ1年3カ月しか経っていないのになぜまた選挙をするのかという世論がある中、ネットでは前政権下で当選した党内現職議員を対象にした高市首相の大掃除などと囁かれています。

▶ 与党を離脱した公明党が立憲民主党と組んで「生活者ファースト」をスローガンに新たな政党「中道改革連合」誕生を表明しました。

新党設立の記者会見の場で、「生活者ファースト」の対義語は何かと問われ「日本人ファースト」との答でしたが、これは対立する別の政党を意識したものでしょう。この答には違和感をもちました。

対義語は国民の声に耳を貸さない政治家の「俺だけファースト」だと思うのですが。

▶ 「政治家は落ちてしまえば“ただの人”」と言われていますが、当選しても“ただの人”であってほしいものです。権力を掌中に収めて何でもできると考える某国トップ他、世界には“ただの人”ではない指導者が何人もいます。



政治は民のために行われるものであって、自分自身のために行うものではありません。

▶ 近年SNSが情報源として多くの人たちに利用されるようになり、各政党も積極的にyoutubeで情報発信をするようになりました。NHK テレビでも政見放送が行われていますが、各政党の主張は制限された時間で順に放映されるため自身に関心のない政党の主張も観ていなければなりません。

特に若い世代は手っ取り早く自分のほしい情報にアクセスできるSNSを重用しているようです。



▶ 先日のOnline会合でも生成AIが話題になっていますが、SNS上のコンテンツが人が作ったものか、コンピュータが作ったものか見極めができなくなっています。さらにフェイク情報もあるとなると、厳正・公正であるべき選挙が歪められてしまいます。

一方、SNSの重用で自身の好みに合う情報にしかアクセスせず情報の偏りの問題も孕んでいます。

できるだけ多くの情報に接し、真実を見極める判断力を持つことが大切です。8日の投票日には私たちのはっきりとした意思を示しましょう。

■ 巻頭写真説明

▶ 巻頭の写真は中山法華経寺遠壽院荒行堂の前に植えられた樹齢200年を超える梅の古木で、加賀百万石の支藩、越中富山十万石第九代藩主前田利幹(としつよ)公の子宝成就祝いとして奉納植樹されたと記されています。荒行堂の奥からは100日間の荒行に励む僧たちの読経の声が聞こえてきますが、2月10日に成満(じょうまん)を迎えます。



■ 春節

▶ 旧暦の1月1日が春節で今年は2月17日がその日となります。中国はじめアジア諸国で春節をお祝いしていますが、横浜中華街でもにぎやかにお祭りが行われるようです。昨今の政治状況からして中国からの訪日客は減るのでしょうか…。

■ 活動報告

▶ 1月27日(火) Online 会合

<http://jvc-senior.com/20260127online2.pdf>

AIによる音楽や映像が話題になっています。ご確認ください。



■ 事務局から

▶ 本誌冒頭で今年の歌会始について述べました。2027年「歌会始」のお題は「旅」と発表され、一般からの受付がすでに始まっています。入選すれば来年の「歌会始」で詠み上げられます。

シニアクラブの中で「お歌のサークル」を立ち上げて皇居を目指すという目標を持ってお互い切磋琢磨するのもよいのではないのでしょうか。

▶ シニアクラブ活動の新たな方向として、サークル活動を導入しよう、という話が出ています。

趣味を同じにする人たちのサークル活動で、囲碁、将棋、麻雀、カラオケ、写真、書道、ゴルフ、ハイキング・・・、これらは今思いつくまに書いているだけで、決まったことではありませんが、テーマや内容、推進方法などは今後詳細を詰めていく予定です。



▶ こんなサークルを立ち上げたいという案があればどんどんお寄せください。みんなで活動を盛り上げていきましょう。

事務局 局長 田代 周